

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 木曽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透訓ガ	救臨感へ災輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
-	16,275	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

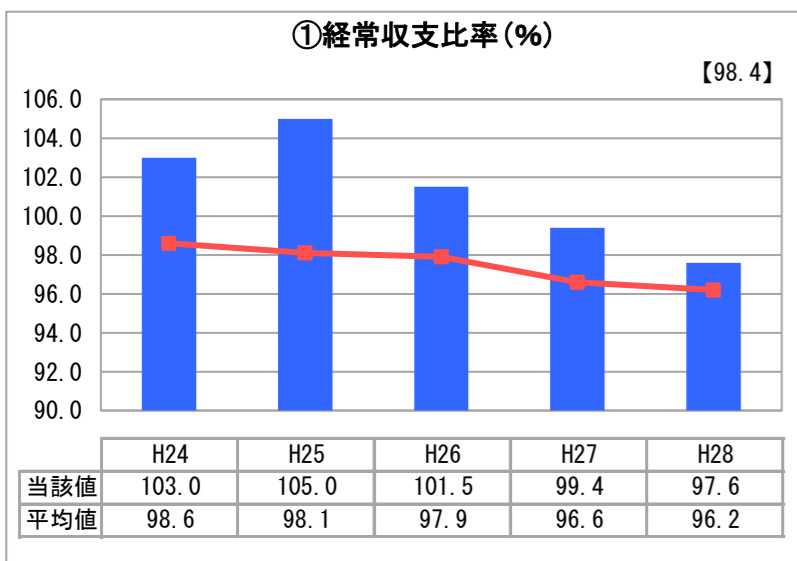
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
207	48	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	259
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
138	48	186

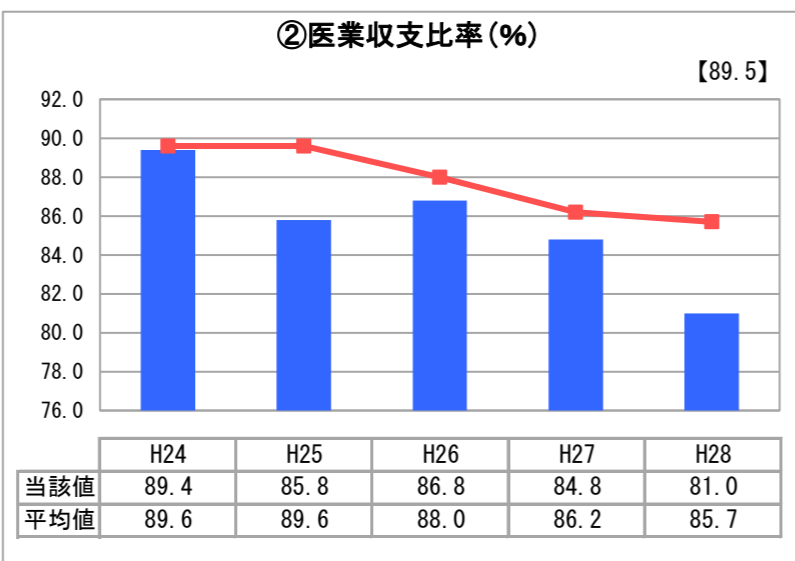
**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

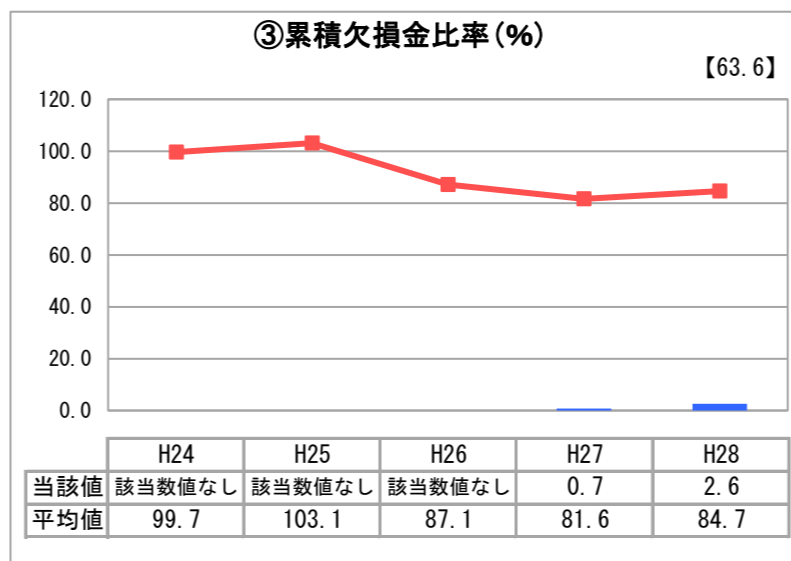
## 1. 経営の健全性・効率性



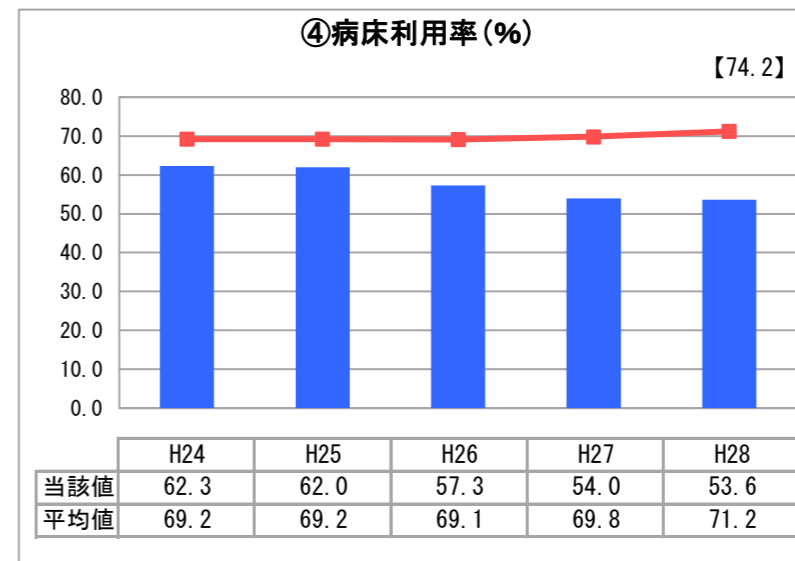
「経常損益」



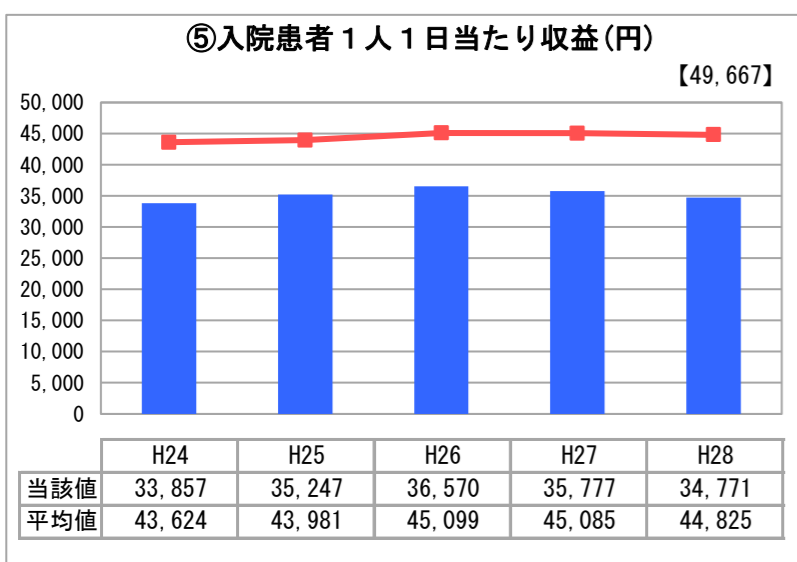
「医業損益」



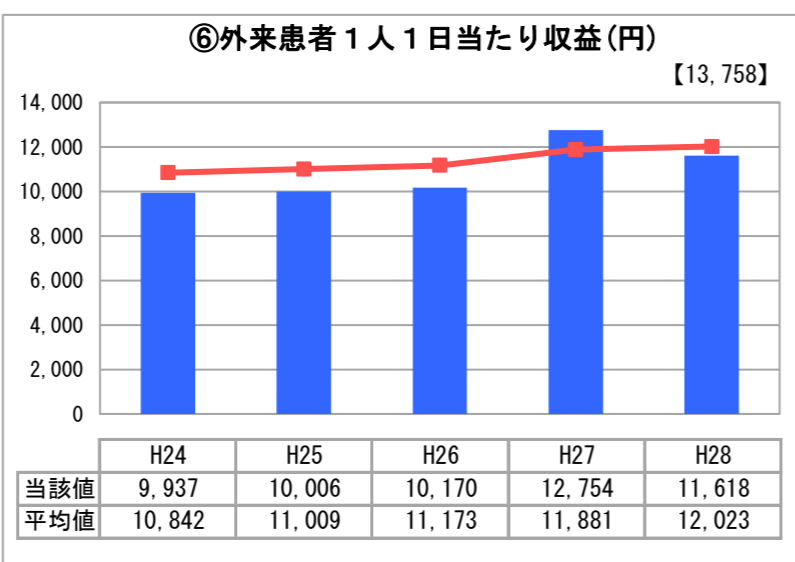
「累積欠損」



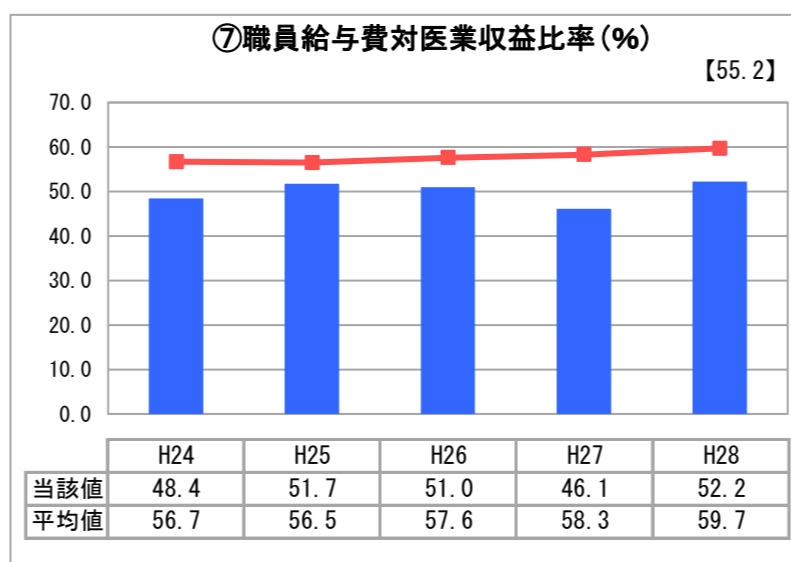
「施設の効率性」



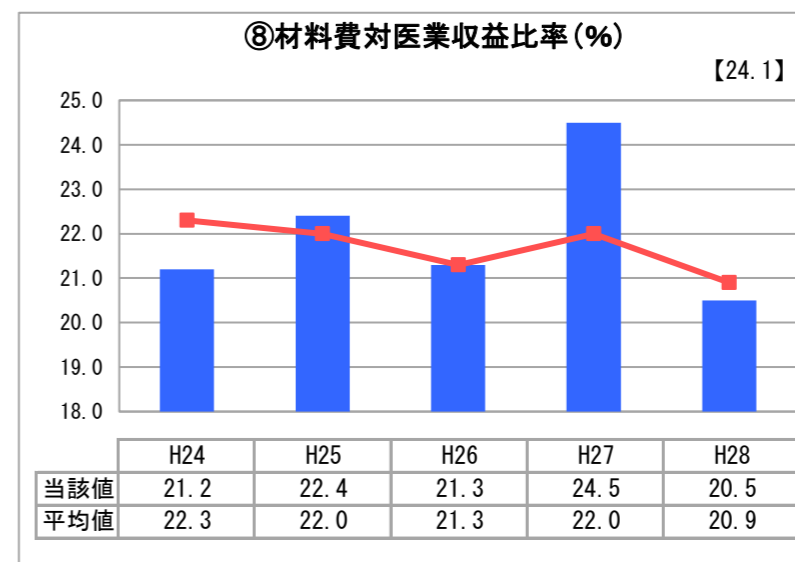
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

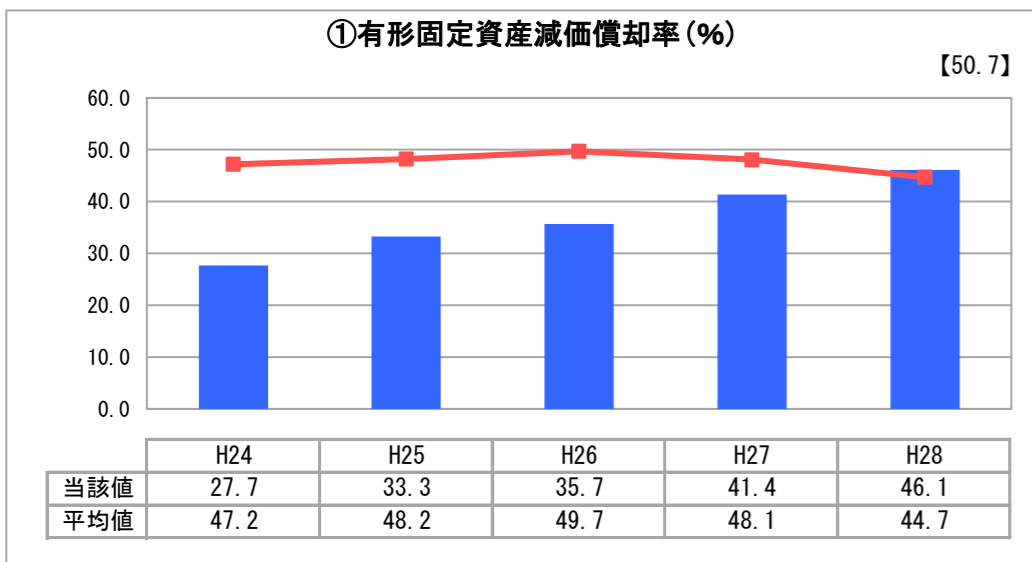


「費用の効率性①」

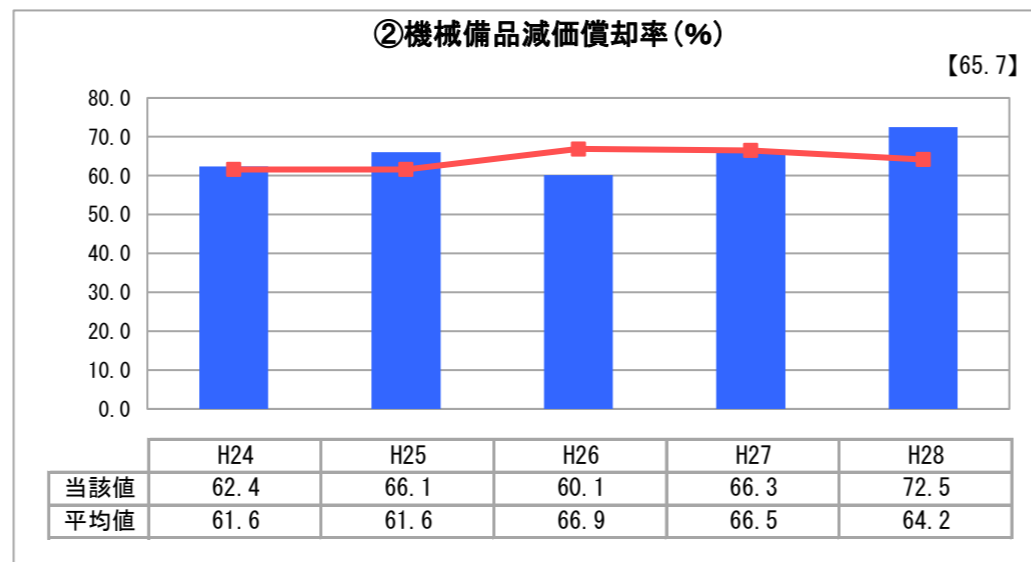


「費用の効率性②」

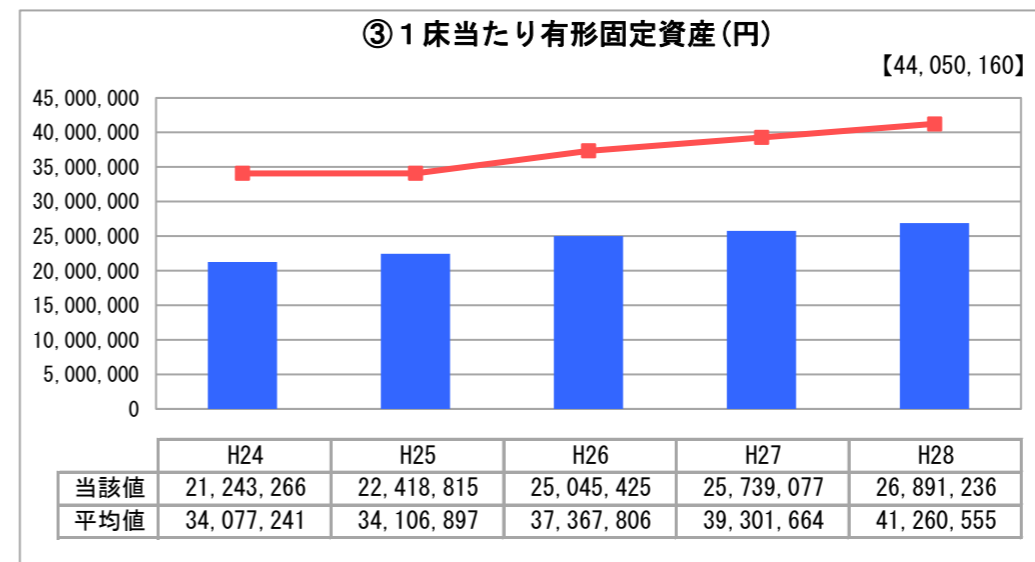
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

当院は、木曽医療圏で唯一の病院として、24時間365日体制による救急の対応、災害時における医療活動の拠点としての活動、無医地区への巡回診療やへき地診療所への支援、地域がん治療病院としてのがん治療など、地域医療を提供している。

また、併設の木曽介護老人保健施設と提携した医療と福祉の切れ目のないサービスも提供している。当医療圏は中山間地域であり、高齢化が進んでいることから、訪問看護等の在宅医療における地域からの期待は大きい。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率がここ数年低下し続けて100%を切っており、類似病院の平均値を上回ってはいるが、経営改善の取り組みが求められている。

入院患者及び外来患者の1人1日当たり収益は、類似病院の平均値を下回っているが、職員給与費対医業収益比率と材料費対医業収益比率は平均値を下回っており、効率的な経営に取り組んでいると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産・機械備品ともに減価償却費率が類似病院の平均値を上回っており、老朽化が進んでいる。

将来的には、施設の全面改築も含めて検討が必要である。

## 全体総括

病床利用率が全国平均より低くなっており、減少が続いている。これは、地域の人口減少が影響しており、運動して医業収益も減少傾向にある。今後は更なる経営の効率化が求められている。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。